

れきみんオムニバス講座

瀬戸内海文化を探る 5つの旅

-50年間の調査の軌跡-

先日、来館者のある方が、私にシャープな質問をあげました。「瀬戸内海文化という言葉をよく聞きますが、そのような文化はありますか」と。心の底をつかれた思いでしたが、私は、「あるのではないかと仮設のもとで、その存在や内容を明らかにしていくことが、本館活動の基礎にあるのです」と答えざるを得ませんでした。この道のりははるか遠いように思われます。

村川 節彦 (瀬戸内海歴史民俗資料館2代目館長)

『瀬戸内海歴史民俗資料館年報』(1977(昭和52)年)「はじめに」より

広域資料館として、瀬戸内地方という広大なフィールドを研究対象とした瀬戸内海歴史民俗資料館。どのような方法で瀬戸内海文化を探ってきたのか、「旅」を切り口に紹介するオムニバス講座(全5回)を開催します。

第3回

起源の謎に迫る旅!

瀬戸内海、北海道に郷土民俗芸能の原型・ルーツを求めて

-位牌を背負う盆踊り、さめき獅子の分布調査-

2/17(土)

講師 **溝渕 茂樹** 氏(さぬき市文化財保護審議会委員・元当館専門職員)

10:00
- 11:30

香川県民俗芸能緊急調査(平成8・9年度)では、獅子舞は1,200を超える最多の件数が報告される一方、位牌を背負って踊る盆踊りは坂出市檀石(ひついし)島の1件のみでした。これらの原型や類例を求め、明治時代に北海道へ伝わった「さめき獅子」や瀬戸内島しょ部の盆踊りの分布調査を実施。調査の旅から見えてきたことをお話しします。



丸亀市本島笠島地区の盆踊り
(背中に位牌を背負って踊っている)

第4回

地域社会を読み解く「過去」への旅

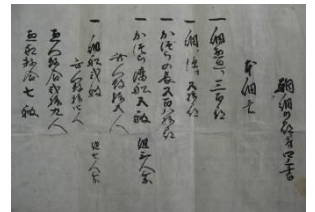
れきみん古文書資料との《旅》-その魅力と重要性-

3/10(日)

講師 **山本 秀夫** 氏(岡山県立記録資料館資料集編纂専門員・元当館専門職員)

10:00
- 11:30

開館以来、県内各地から当館に収蔵された膨大(ぼうだい)な古文書資料。その唯一無二(ゆいいつむに)の一点一点は、私たちに重要な歴史情報をもたらしてくれる語(かた)り部(べ)です。本講座ではその中から数点を選び、その魅力についてご紹介します。



「綱網御尋三付口上書」(部分)
[宝永5年]『三宅家文書』当館蔵

第5回

モノから見える不思議な世界を旅する
日常のモノに秘められた深層世界を探る

-網と海民と瀬戸内の旅-

3/24(日)

講師 **真鍋 篤行** (当館専門職員)

10:00
- 11:30

網の構造などを紐解(ひもと)きながら、自然とヒトをつなぐモノの役割について語ります。漁師への聞き取り調査や網の形態分析などを通して見えてきた日常のモノに秘められた深層世界。網を手がかりに、モノから見える不思議な世界へご案内します。



ともうら
鞆の浦観光綱網
(広島県福山市)

講座の詳細・申込方法

- 会場** 瀬戸内海歴史民俗資料館 研修室
- 参加料** 無料
- 定員** 各回25名(先着順)
- 申込方法** 電話、はがき、FAX、「香川県電子申請・届出システム」でお申し込みください。
※お申し込みの際は、行事名と氏名、電話番号をお知らせください。電子申請・届出システムをご利用の場合は、香川県ホームページの「オンライン手続等」から「電子申請・届出サービス」にアクセスし、各講座名から必要事項をご記入の上、お申し込みください。
- 申込期間** ③、④ 1/12(金)～、⑤ 2/9(金)～
定員になり次第終了

瀬戸内海歴史民俗資料館

〒761-8001 高松市亀水町1412-2 (五色台山上)

TEL 087-881-4707 FAX 087-881-4784

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/setorekishi/>



JR高松駅から車で約25分・JR坂出駅から車で約30分◎徳島方面から…高松自動車道横紙ICより車で約30分◎岡山方面から…瀬戸中央自動車道坂出北ICより車で約30分◎愛媛・高知方面から…高松自動車道坂出ICより車で約35分*いずれも県道高松王越坂出線の大崎の鼻経由◎駐車場：普通車30台、大型バス可

